



田辺工業

避難階段で優秀賞

県内工業高の発表大会

和歌山市で開かれた「第35回工業教育研究発表大会」の研究部門で、田辺工業高校機械科3年生の吉田唯太郎君(18)、磯村琉斗君(18)、川口瑞貴君(18)が地域のために製作した避難階段について発表し、優秀賞を受賞した。

県高校教育研究会工業部の生徒が参加し、日頃の取り組みを発表した。組むを発表した。づくりネットワーク会議の主 作文、研究、教員発表、ポスターセッションの部門があ



り、研究部門には各校から選ばれた5チームが参加。最優秀賞と優秀賞に各1チーム、佳良賞に3チームが選ばれた。

田辺工業は「命を守る、災害時の避難階段製作と設置」地域に貢献できる工業高校としての取り組み」と題して発表。機械科3年生の7人が製作・設置した、学校から高台に続く斜面の避難階段について紹介した。

吉田君は「緊張したが、練習していたのでスムーズに発表することができた。避難階段は知ってもらわないと活用されないの、多くの人に紹介することができてよかった」と話している。

作文部門では、機械科3年生の伊那智也君が「後輩に向けて」の演題で佳良賞に入った。

ポスターセッション部門では、機械科3年生の石岡将人君、門脇俊樹君、金山増依君のチームと、同科3年生の古屋智大君、森山一稀君、重津隼人君のチームがアイデア賞を受賞。電気電子科3年生の

工業教育研究発表大会の研究部門で、優秀賞を受賞した3人

下本海加里さん、濱崎有加さん、峯ゆりあさん、山本桃花さんのチームは研究賞に、情報システム科3年生の金谷歩君、小守樹君、福田涼真君、前田巨輝君、松本尚希君のチームはポスター賞に入った。